
Barreiro

について

バレイロ

バレイロは16世紀に町に昇格しましたが、もともとバレイロ（Barreiro）の村の核となったのは、アルガルヴェ地方（Algarve）からやってきたさまざまな漁師たちでした。漁師たちはこの地に住みつき、リスボン（Lisboa）の港の入り口（バーラ）（barra）で漁をしました。そのためこの地は「バレイロス」として知られるようになりました。

18世紀から19世紀にかけて、南部や南東部に向かう鉄道路線の終着駅が設置されたことにより、この地域一帯は飛躍的に発展しました。多くの乗降客で土地は活気づき、多くの人々やさまざまな産業がここに根を下ろすことになりました。バレイロの町は今も発展を続け、1984年には市の区分に昇格しています。